Vol. 26 No. 7186 Thursday January 1 1931

TAIRIKU NIPPO

昭和六年一月一日（木曜日）第七千百八十六號

大陸日報

TAIRIKU NIPPO
(THE) CONTINENTAL DAILY NEWS
PUBLISHED BY
TAIRIKU NIPPO SHA LTD.
213 & 215 CORDOVA ST. E.
VANCOUVER, B. C.

新年附錄
〔第二〕

童話　れ山は寒い

中島孤島

一、兎の降る日

ある山奥に一匹の兎が住んで居りました。大そう利口な、はしつこい兎でしたから、狐や狐や熊などが、いくらつかまへようと思つても、うまく逃げて、なか〳〵つかまらないばかりか、いつでも利いけものたちの味方になつて、狼つてる奴らを困らせるのでした。

山にはもう多が來て、いたに雪が降つて來るといふので、けものたちはみんな冬ごもりの支度にかゝつてをりました。狐のこん太は今朝もはやく起きて食べものを見つけに行きましたが、夕方になると、なにか一ぱいつめこんだ大きな袋を肩へかけて、かへつて來ました。

その時、うささんは林のなかから、その袋を見て、

「こん太め、またなにか利いものをいちめて、深山分捕物をして來たと見ゐる。よし！　一つだまして、われをみんな取り上げてやらう」といひながら、大いそぎで林をとび出して、こん太の來る道のまん中へころがつて、死んだふりをして居りました。

すると、こん太がやつて來て、日頃仇のやうに思つてゐるうささんが倒れてゐるのを見ると、スツキの先でつゝいて見て、

「やれ〳〵、いたづら小僧め、とう〳〵死んでやつたのか？　だがどうして死んだんだらう？　だれかにやられたのかな？　まあ、なんでもいゝ。こんなにふとつてるから、さぞうまいだらう！」とうれしさうにながめて居りましたが、

「だが、困つたなあ！　袋が一ぱいで、入れる場所がないぞ！」といつて、大いゝさで別の袋を取りにかへつて行きました。

こん太が行つてしまふと、うささんはすぐにとび起きて、林をぬけて、こん太の先へまはり、また道のまん中へころがつてをりました。

するとこん太がやつて來て、スツキの先でつゝきながら、

「おや〳〵、けんはよつぽど、兎のふる日と見ゐる！　こんどの方が少しよとつてるやうだな！」といつて、なにか考へてゐたが「さてよ、無かにはれないうちにさつきの奴を拾つておかうかな！」と袋を運ばたへふろしておいて、大いそぎで、今來た方へ引きかへして行きました。

それを見ると、うささんは、急にはね起きて、こん太のおいて行つた袋をかつぐよりはやく、林の中へとび込んでしまひました。

そのあとへ、こん太はかへつて來て見ると、たしかに死んでゐたはずの兎もゐなければ、せつかく一日かゝつてさがして來た獲物の袋もなくなつてゐるので、

「また、あの小僧にだまされたのか？　今に見ゝ！　きつと敵をとつてやるから。」といつて、くやしがりました。

二、馬の死骸

そのつぎの日、狐のこん太は、朝起きるとすぐに、うささんをさがしに出かけました。

「けふこそは、きつとつかまへてきのふの敵をうつてやるぞ！」とひとり言をいひながら、こん太はせつせと林の奥へはいつて行きました。

うささんは嬉くからこの樣子を見て、

「あゝ、あいつはおれをさがしてゐるんだな！」と思つたので、そつと林をぬけて、うしろの原つぱへ出かけて行きました。すると草の中に、なにか大きな黑いものがあるので、こは〳〵近よつて見ると、つよさうな馬がまるで死んだやうになつて、ぐう〳〵眠つてゐるのでした。

うささんは足音を立てないやうに、そうとそばへよつて、ぐるりと馬のまはりをまはつて見ましたが、馬はなにも知らずにぐつすり眠つてゐるので、うささんはまたそうと林の方へ引かへして來ました。

林のところまで來る、こん太狐のそ〳〵とやつて來る姿を見かけたので、うささんは立ちどまつてにこ〳〵笑ひながら、

「こん太さんお早う！　君、もうけんくわはよさうよ！　ね、そのかはり、君にいゝものを見せてあげるよ。」といふと、狐はまだおこつたやうな顔をして

「またおれをだまさうと思つてるのか？　いゝものつてなんだい？　どこにいゝものがあるんだい？」

ときくので、うささんは、小さな聲をして、

「まア僕と一しよに來てごらんよ！　とてもすばらしいものがあるんだから。」といつて、先へたつてこん太を馬のそばへつれて行きました。

「どうだ君。あの馬は死んでるんだよ。あれだけの肉があれば、君が一年中食べたつて、食べきれやしないぜ！　さア、あれを二人分けて、仲なほりをしようよ！」

「なるほど！君は目がはやいね。だが、困つたなア！どうして引ばつてつたらいゝだらう？　その上もしか生きてゐたら大へんだやないか？」

「ねゝ。こん太さん。もしか僕が君ぐらゐの體格をもつてゐれば、あんな馬ぐらゐ、なんでもないんだがなア！」

「ちやナ、うささん、君は僕がどうすればいゝと思ふのか？」

「なアに、こん太さん、わけはないんだよ。あいつの尻尾へ君のからだをしばりつけてするゝ〳〵引つぱつて行けばいゝんだよ。もしか生きてゐて、起き上らうとしたつて、君がそのからだで、ぎゆうつとおさへつけてゐれば、どうすることも出來やしないよ。」

狐のこん太は馬があんまりよく寢てゐるので、

「この馬は死んでゐないまでも、病氣かなんかで、よわつてゐるのだらう。」と思ひました。その上、うささんに、君ぐらゐの體格をもつてゐれば。」なんかとおだてられたので、すつかりねらい氣になつてしまつて、自分の强いところを見せて、うささんをおどろかしてやらう思つて、うささんのいふとほりに、馬の尻尾へ自分のからだをしつかりひすびつけました。

そのとたんに、馬が目をさまして、「ヒヒーン！」となきながらはね上つて、尻尾をふつたので、こん太は風車のやうに、くる〳〵と空の中をふりまはされました。

けれども馬は、もうすつかりおこつてしまつて、夢中になつて尻尾をふりまはすので、こん太はいくども地べたへたゝきつけられたり、後足でけられたりしたあげくに、とう〳〵でんぐりかへしをうつて、ばら藪の中へはふり出されました。

こん太は一日中、藪の中へころがつて、うん〳〵うなつてをりましたが、夕方になつて、やつと藪からはひ出して、びつこをひきながら家へかへつて行きました。

こん太はくるしさうにとぼ〳〵、見てくれたまへ！　このとはひだ！　僕はとてもあの兎にはかなはない！」といつて、こなひだからの話をして、

「ごしやうだから、この仇をとつてくれたまへ！」と頼みました。

そこでこん太の友だちは、みんなでうささんをさがしに出かけましたが、はしつこい兎はうま〳〵このまゝで外へ飛び出したら、蜂やなんかがよつて來て、さし殺されてしまふだらう！」といひながら、ころ〳〵とこやしにして、たなからころげ落ちるとたんに、頭から蜜をあびてしまひました。

「こりやア、いらいことになつた！」と云つて、うささんは起き上つて、顔やからだからぱた〳〵とたれる蜜を手ではらつてゐましたが、「困つたなア！　こんなことをしてゐるうちに、熊さんがかへつて來たら、命はないし、といつてこのまゝで外へ飛び出したら、蜂やなんかがよつて來て、さし殺されてしまふだらう！」といひながら、足がすべつて壺と一しよに、たなの上へ飛びこんで來たうささんの姿を見て、君がそのからだで、ぎゆうつとおさへつけてゐれば、どうすることも出來やしないよ。」

狐のこん太は馬があんまりよく寢てゐるので、

「この馬は死んでゐないまでも、病氣かなんかで、よわつてゐるのだらう。」と思ひました。その上、うささんは足音を立てないやうに、そうとそばへよつて、ぐるりと馬のまはりをまはつて見ましたが、馬はなにも知らずにぐつすり眠つてゐるので、うささんはまたそうと林の方へ引かへして來ました。

林のところまで來る、こん太狐のそ〳〵とやつて來る姿を見かけたので、うささんは立ちどまつてにこ〳〵笑ひながら、

「こん太さんお早う！　君、もうけんくわはよさうよ！　ね、そのかはり、君にいゝものを見せてあげるよ。」といふと、狐はまだおこつたやうな顔をして

「またおれをだまさうと思つてるのか？　いゝものつてなんだい？　どこにいゝものがあるんだい？」

ときくので、うささんは、小さな聲をして、

「まア僕と一しよに來てごらんよ！　とてもすばらしいものがあるんだから。」といつて、先へたつてこん太を馬のそばへつれて行きました。

「どうだ君。あの馬は死んでゐるんだよ。あれだけの肉があれば、君が一年中食べたつて、食べきれやしないぜ！　さア、あれを二人分けて、仲なほりをしようよ！」

「なるほど！君は目がはやいね。だが、困つたなア！どうして引ばつてつたらいゝだらう？　その上もしか生きてゐたら大へんだやないか？」

「ねゝ。こん太さん。もしか僕が君ぐらゐの體格をもつてゐれば、あんな馬ぐらゐ、なんでもないんだがなア！」

「ちやナ、うささん、君は僕がどうすればいゝと思ふのか？」

「なアに、こん太さん、わけはないんだよ。あいつの尻尾へ君のからだをしばりつけてするゝ〳〵引つぱつて行けばいゝんだよ。もしか生きてゐて、起き上らうとしたつて

晩香坡の演劇昔ばなし

——（珍談、奇談のかゞ〳〵）——

山本倫由

朝日座

時は明治三十七年の出來事である、晩香坡市役所の磯部堂へ、武智光秀が竹槍を扱いて、扱き退き退現はれ出でたのである、妙なところへ光秀が現はれ出でたものだが、さては當時の晩香坡市長を突き刺すつもりで來たのだらうと早合點してはいけない。

○

抑事の起りはその當時晩香坡で有名な料亭「一富士」の親雀三七郎を師匠として、時の若い藝妓見番君、中堀幸治君などの人々が、歌舞伎芝居の一座を組織して、スプストンのオペラ・ハウスでカンナラ掛幕を張して、花々しく公演したのが大當りで、いよ〳〵花の都の晩香坡へ進出することとなり、市役所の磯部堂を借り受けて興行した感覚が「大功記十段目」で、さてこそ英雄年號見番吉丈が扮したるところの狐疑たる武智光秀が、竹槍を扱いて現はれ出でて瓜畑に入つてゐた婆さんを突き殺して、かみさんに叱られる一幕を演じた次第である。

○

當時滿洲の野に於ては、あかい夕陽にてらされて日本とロシヤが干戈を交へてゐて、朝日の旗手が かせながら、日本軍は連戰連勝の其最中であつたので、この一座を「朝日座」と命名した。

○

それが動機となつて、その後この晩香坡では同胞間に「朝日」の名稱をつける事が流行したものだ「朝日めしや」「朝日商會」「朝日床」「朝日グロージ」「朝日クリーナー……」なぞ——そのうち朝日野球團は今でも同胞を代表してバウエル・グラウンドでオッペンハイヤア・バアクで活躍してゐる。

○

兎に角この朝日座が川柳陀在留同胞社會に於ける演劇の源泉で、その後大正の始め頃までも續いたものだが、いつの間にか消滅失せて劇場はやはり市役所の磯部堂で當時最新流行のラッパ節で「トコトットタッタッタ」と賑やかに粕があがると、武裝した吉田軍曹殿が銀箔ばりの秋水を振り翳し、土用干の鯉歌の如くに反り返つて立現はれると、陶酔したる觀客は一斉にホールの床板も踏み抜かんばかりに足踏み鳴らしながら拍手喝采した。

○

さてもこの時群衆の中から「トーゴー・バンザイ」と叫ぶ掛聲がするので、軍曹殿「はて面妖な」と軍刀に手を掛して近かに眺めると、案徳の如く押し寄せた觀客の中に白人が多數まぢつてゐて、やんやと喝采してゐたのには、流石ものに動じぬ軍曹殿も驚き慌てて漸のもしどろもどろになつたとの事である。

○

これが新派劇の元祖と申すべきであるが、吉田君に尋ねてみるとこの劇團には名稱がなかつたとの事であるから「吉田千恵藏とその一黨」とでも名づけて置くか。

軍國美談「月下の露」

時は明治三十八年、滿洲の荒野に滿巻く砂塵の風は、こゝ加奈陀の一角晩香坡在留同胞社會にも其の影響を及ぼして、在留同胞その何れも戰爭氣分に滿ち、遥かに祖國の空を仰いで武運長久を祈願した事は勿論である。

さてもこの時、この國難の秋に當り、故郷の母吉田千恵藏君とその一黨が尚武熱旋吹の必要を感じて軍事劇の演出を企てた。

○

當時世界漫遊の途次この晩香坡に滯在してゐた日本壯士俳優の先輩である松尾次郎氏（最近まで横濱の喜楽座の座頭をしてゐた人で今プリンストンにゐる元「加奈陀新報」記者だつた松尾新君の親爺）を師匠として上演したのが軍國美談「月下の露」と云ふのである。

○

この劇で夫公を演じる吉田君が、在留同胞（御愛顧の爲めとあつて、陸軍歩兵軍曹に扮したるまゝ、其他の一座の面々を綺麗星の如く切りして二頭立ての馬車に打ち乘り、當時まだ人家も稀で、ペンペン草の生えてゐたバッエル街路を五六回も行きつ戻りつ乘り廻したありさまは、まことに實に勇壯の極みであつた。

○

劇場はやはり市役所の磯部堂で當時最新流行のラッパ節で「トコトットタッタッタ」と賑やかに粕があがると、武裝した吉田軍曹殿が銀箔ばりの秋水を振り翳し、土用干の鯉歌の如くに反り返つて立現はれると、陶酔したる觀客は一斉にホールの床板も踏み抜かんばかりに足踏み鳴らしながら拍手喝采した。

○

さてもこの時群衆の中から「トーゴー・バンザイ」と叫ぶ掛聲がするので、軍曹殿「はて面妖な」と軍刀に手を掛して近かに眺めると、案徳の如く押し寄せた觀客の中に白人が多數まぢつてゐて、やんやと喝采してゐたのには、流石ものに動じぬ軍曹殿も驚き慌てて漸のもしどろもどろになつたとの事である。

○

これが新派劇の元祖と申すべきであるが、吉田君に尋ねてみるとこの劇團には名稱がなかつたとの事であるから「吉田千恵藏とその一黨」とでも名づけて置くか。

矯美團一座

明治四十三年の頃である、矯美團と稱する新派劇の一座があつた、當時まだ武道華やかなりし頃とて藝團も「ピストル强盜清水定吉」と云つたやうな所謂壯士芝居で、これがやはり市役所の磯部堂でピストルをポンポン鳴らして、賑やかに立ち廻りを演じては好評を博したものだ。

○

又この劇團は俳優と云ふのが、俱梨迦羅紋々の刺青を背中一杯塗りくつた侠客の親分と云つたやうなのが、後年日會晩郡の中山義一君であつたり、裁判所で八字髭を捻りながら厳粛で判決を申し渡す判事が、勞働組合の闘士佐田檢事君となり、强盜をつかまへて來た巡査で、警部を云ふ度に米搗きのやうな恰好で右足を上げたり下したりする癖の眼についたのが「大陸日報」にゐる杉万君ではなかつたか、ちがつたらまつぴら御免なせ。

○

敵役で有名だつた半田君も今ではルーミング・ハウスの親方にとをさまつてゐるが、當時は觀客をエキサイトさせたものだ。その時の女形としては今は北方アラスカで雪や氷に閉ざされて、蟄居してゐる俳人宇都宮しげを宗匠がスター級で、桃色のハンカチーフを唇に銜へて、しやなり〳〵と歩みながら風邪氣味の鶯みたいな聲で、當今で云ふエロを撒散さすのが悲劇となり、喜劇となり、果ては大驅動ピストル驅さとなり杉万巡査の活躍となり、佐田判事の判決で芽出度く幕がとりると云ふのが矯美團當時の所謂壯士芝居の構成するものであつた。

○

この劇團も大正二三年頃までは續いてゐたのだが、いつの間にか俳優諸氏が社會人となると同時に其夏に消滅ゆく螢火の如く消失した。

少女歌劇

近ぐは東本願寺の明教師として赴任して來た水戸愛川師が、清楚なる少女を狩り集めて、高田タキシー君を樂長として、アベニュー座の舞臺で「ありやせ、こりやさ」と踊らして、第二世青年男女を陶醉させた事はどなたも御承知の通りである。

○

その昔市役所のホールで、吉田君とその一黨が、剣附鐵砲でラッパ節を歌つた武士道華やかなりし時代から、アベニュー座で愛川門下の少女達が秋の月夜のすゞ蟲の如く、いともはがらかに歌劇を演じたまでに、約四分の一世紀の隔たがある譯である。

㊐ 舞ひ初め

謹賀新年
私共の標語
堅誠親奉
實意切仕
一月元旦
マニユフアクチヤーラース
生命保險
日本人部代理
信夫事務所
信夫三郎
後藤金平

謹賀新年
奥村事務所
晩香坡市バウエル街癸癸貳
主任　奥村繁彦
電話ドグラス五五四六

謹賀新年
土地家屋賣買周旋
代書通辯
晩香坡市バウエル街二六一
濱垣事務所
濱垣貞一
電話ドグラス癸貳貳壹
自宅ハイ一五五五

謹賀新年
ビーシー薪炭會社
電話ハイランド九一五
住宅ハイランド二八九五アール
ウッドランド街埠頭

謹賀新年
マリン薪炭會社
西村善七
ヴィクトリア街埠頭
電話ハイランド五六〇五

謹賀新年
病者の福音。物、心、靈、合理的綜合治療法

一、江間式心身鍛錬法目的
江間式心身鍛錬法は肉体を鍛い精神を錬り臍下丹田の充實を計り判斷力養成、決斷力を强行にし斷行力を增進し然して病氣の大半である神經病を自ら脱却し自然の癒能を動かしめ無病長壽成功の眞價を得るのであります

一、オゾンレントゲンテルモ療法
本療法は醫學上温熱療法の進歩發達したもので吾人の努力研鑽によつて完成された特得の治療法であります即ち神經中樞部位及び患部に酸素温熱的刺戟を與へ神經機能の異常、血行機能の異常ホルモンの變調などを生理的に整調させその結果人体細胞組織の新生新陳代謝機能の亢進、自衛機能の亢進自然の療能作用などが振興して完全に治癒を營爲するに至るのであります

一、ヴァイブレーター振動療法
本療法は振動電氣治療にして微妙なる振動を肉体に傳へ快感的刺戟を爲すものであります故に酸素温熱刺激の後治療點又は患部に本機を接觸し振動刺戟を與へるとき温熱治療の刺戟を增長し細胞の生活々動を旺盛するのであります
本機は電氣的作用を起すものなれど電氣を肉体に通ずるものにあらず從つて感電等の心配なく又電氣刺激による禁忌等ありません

一、物、心、靈、合理的綜合治療法
とは別記の三療を合せて精神的に靈的に物理的に疾病の根元に向つて直達的に應用するのであります
ら如何なる難病苦惱者でも短時日にして御滿足が得られます
昭和六年の年頭にあたり病氣の眞治療法を紹介すると共に御試療を御進め致します

謹賀新年
昭和六年元旦
事務所　晩香坡市バウエル街三九六ホテルウオールド
ルーム番號三〇六—三〇七電話ダグラス四六二五ワイ
治療時間　毎日午前九時より午後十時まで

江間式心身鍛錬法講師
東京理研生理學士
念親修養會靈術士
治療部擔任者
面川寛之助
瀬戸福太郎
外一同

各位

應募短篇 キャンプの或日

（晩香坡）

解田佐久良

……料理屋日本人キャンプの場景板前

時―一九三〇年十一月某日正午

A・B・C三青年の談話

定期役員會報告

昨夜××會ホールに於て定期評議員會開催出席役員六名、某、某々……

一、役員某々二氏職の件

右は××氏を委員に擧げて極力留任勸告の事

一、某々氏役員留任の件

前月評議員山の某々氏は△△氏極力留任勸告を容れて留任ざる

一、×××……

A「明夕はまた定期評議員留任勸告會が開催せられたんだね」

B「今度は○○君と△△△君とが評議員を出す番だったんだね」

A「何日出度い事さ、××氏を委員に擧げて極力留任勸告の事だとよ」

B「前月はその××氏が極力勸告されたんだからねハハ……」

A「ハハ……御苦勞樣な事だ勸告されたり勸告したり……」

B「ソレソレ「然」へ、その次に▽▽氏役員留任の件だ」

A「來月は誰の番かな、今年も役員會は後もう一回でしまひだが其合よく皆に一まはり評議員が出せるように してあるだらうよ、一年間此の協議員も根よく評議員極力勸告の事をよく出しかさず出してくれたものさ大いに感謝の至りだ、ハハ……」

B「フフ！明夕も六人だけより出席しどらんぢやないか、十人の役員が居ても出席するのは何時も六七人だけなんだからなア例に依って×△氏と○○氏君とは出席してるねね」

A「この二人が來たら亦賑ろしく喪せしめなんだし、外の連中と比べて妙なコントラストだ」

B「會長や幹事連中はどうしたんだ夕は」

A「例の研究に御多忙さ」

B「天地玄黃かい」

A「何しろ君何時かの評議員會の時なんか時學校間盟の重要會議イ例の×△氏○○ィ君とが熱心に議して居る最中にポケットから天地玄黃を出して四五人で鳩首凝議ださうだからねね」

B「呆れ返らざるを得ないねね、それで居て何時も此の二君の脫は否決と決めて居るんだから……」

A「皆り前さ、先生逆ア、バッツペを賣はねねから仲間にや入れてもらへねねのさ、此處ぢやパカッペを賣つて、シーローを服つて××健康病で香具師の真似をせにや有志にはしてもらへんのだからなあハハ……」

B「全くだハハ……」

C「△君一体此の會の存立の意義及目的と貴ふやうなものは何かい」

A「イヤにむづかしく出たね、○君、會則第三條一、本會は在留同胞の向上發展と親和共助を以て目的とす……どうだい、わかったかい」

B「四條、傳月評議員留任勸告會を開催し極力勸告の事を協示すべき事……とね、ハハハ……」

A「ハハ……それは聞だがハハハ……」

C「同胞の向上發展はよかつたねね、そこで實際的な方面ではどんな事してるんかい」

A「そりや君、多々あるさ、曰く雄辯會、曰く圖書部、曰く學校經營、曰く其他等々とね」

C「フン……學校經營は大きな事業さ、併しその曰く圖書部だがね、この間見したが涙六金集と雜誌金集のやうなものが二三十冊あつたが、あれが××會經營の圖書部かい」

A「イエ、サア」

C「それから雄辯會だね、僕も此處に來てから、もうかれこれ一年になるが、まだ一度も開催された事は知らんぞ」

B「そりや一年位では無理さ、三年に一度位の割で開催するんだから」

C「まさか……」

A「I君の說通りさ」

C「大体僕が來てから一年近くなるが、君、僕はまた一度も××會員として×××會の存在を確認する深な事柄にも問題にも出會はないのだが、それぢや一體此處の××會は學校經營のみの會で、會員はそのための經費負擔會員に止るのかい、それぢや君その會則第何條どやらの目的の範圍が少しせや過ぎるやうに思ふがね」

B「僕達が××會の會員として確實に密接な關係を保つて居る只一つの事柄は毎月會費五十仙也徵集される事だけだよ、C君」

C「イヤどうも黙いた、ちやア何だね、僕達は毎月金五十仙納めるためだけの會員なんだね、イヤどうも」

B「そして毎月極力留任勸告會を開いてもらつて居るのさ」

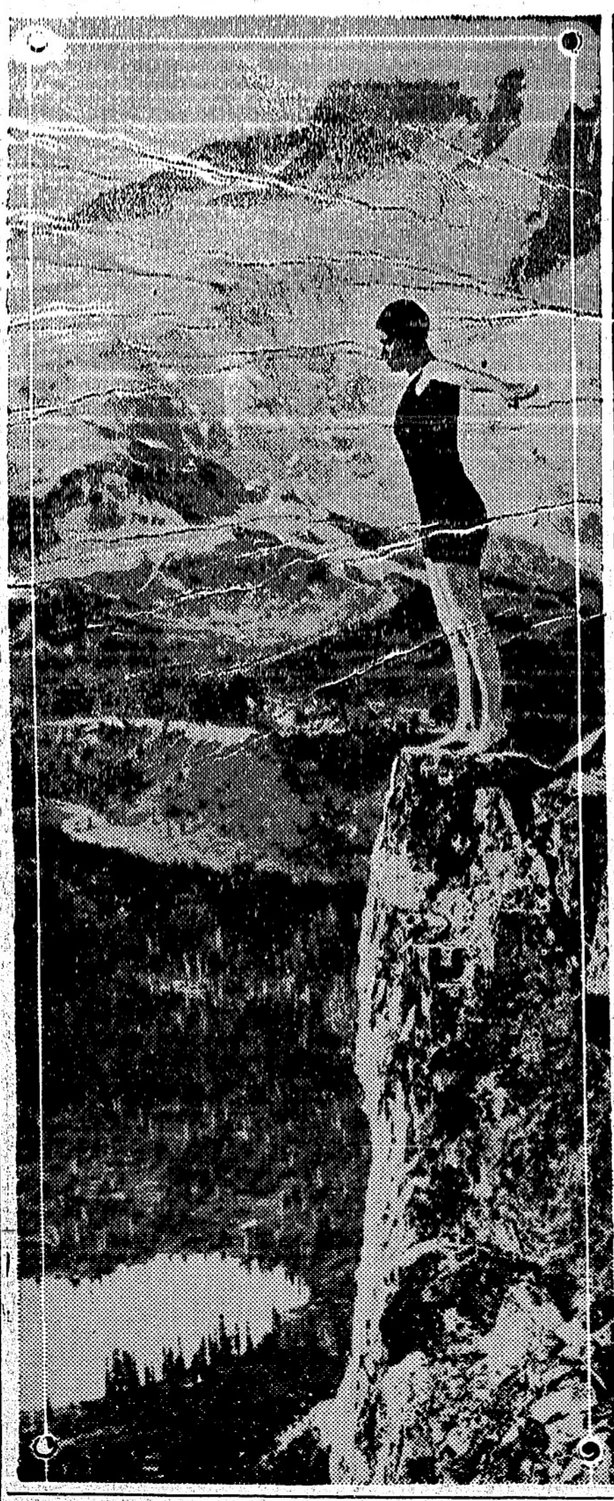
A「幸ひ給へ、君も名譽あるその會員の一人さ」

B、C「ハハ……」

巖頭に立ちて

背景は聯州の米國レニヤ山

女はヤントルのロッツ鐵



アナザー・グループ

△「今日は君達の番かい」

×「ウン俺達と、Sの組とがやるみさ」

△「ちやア明日は僕等か、今夜はオールセム、サタデー・ナイトだな」

×「フフン……ハイユー、サンデーでペリグルさ」

△「有難い仕合せだね、ワン・ウイーキに三四日サンデーがあるんだから」

×「結構な世の申に生れ合したものさ、おかげで肥るよ」

△「今にもつと太らしてくれるさ毎日遊ばしてくれるよ、樂しみにして待つて居給へ」

×「エェッ！、そんな形勢かい」

△「早くて此の月一杯、遲くともクリスマス迄だらう、どうせ此の冬は三三ケ月止めるらしい」

×「チェッ！、勝手にしやがれだ、一體それで俺等どうなるんだい、今でさへ食料獅つて一杯々々なりかねるのに、日本ぢや君、嬶や子供ひぜしになつてしまふぢやないか、景氣のよい時にはオーバタイム、オーバタイムと強制的に働かしやがつて、それで生產過剩になつたからつて、君そらペーを下げる又下げる、今日は休め、明日も休め、そしてその揚句もう俺達から搾る所がなくなつたからつて言ふて餓死線上に放り出しやがる」

△「資本家や階級のやる事は初めから判つてゐるさ」

×「此の失業洪水の時代に此所にも五百人程の失業者が生じる、是等の人々はどうして食つて行くだらう、無論僕もその一人だがね」

△「我々はどうせして居れば餓死を待つ事さ」

×「萬國の勞働者よ團結せよ！アーアどうして皆はもう少し考へてくれぬのかなア」

△「（ホラ何ちゆうたて資本家にはかなはんぱん）ぢや（何せおまはん、わしら資本家に働かさいてもろつてるのやさかい、たと（イクラでもよいから使こたら云ははつたら働かなアカン、勞働者は働かなアカン）ぢや悲觀しちまふねね」

×「却て此の不景氣がもう一層深刻になつて、本當に皆が皆、死か然らずんば突進かと云ふ位まで行き詰れはよいかも知れんねね」

△「奎ろそれを願ふねね、その時こそ、いくら此の一般大衆でも只餓死を待つ樣なことはあるまいからね」

×「晩香坡ではブランコが流行り出したと云ふぜ」

△「全く殺人的不景氣だからね、見て居給へ、晩香坡には限らんから」

×「昨日は他人の身の上も今日は我身に降り掛らう、か、ヤレヤレ、や、もうタイムか、まだ三時間ばかりやつて來るか」

△「やつて來給へ、拙者はこれから散歩でもするか」

×「折角のライス、腹へらさんやうせい、仕事の無い日は寢てるもんさ」

△「だつて食料はおんなじだからね、ハハ……」

×「ハハ……ではまあせいぜい枝振りの良いのを見付けて置くさハハ……」

△「ハハ……君の分も見付けて置いてやるよハハ……」

×、△「ハハ……ハハ……」

……

赤々とストーヴが燃えて居る、秋の夜はストーヴを圍んで話がはずむ、性慾以外に何の興味もなさうな淫蕩な顏した細君か、子供を連れてバーラーに來る。

金にさへなるならシンサンに手位握らしてもよいから洗濯物をたんと欲しいといふやうな顏をした女が來る。九星と地獄極樂と幽靈と狐つきと、etc・etc

甲「昨日Dさんのミセスが百五十弗バカッペに當つたんですつてね、ウマイ事をされましたわね」

乙「まあ、あの人はんとに此の噴よく當るわ、此の間もあんた五十弗やら當つたんだし……」

甲「今度の金でオーバ・コートとシューとスタキン買ふてイートンにオーダされてよ」

乙「そいぢや、ミセスわたしも今夜はもう一枚餘計買ふかな」

丙「ババ、そこ駄目よ、そこは出やせんよ」

乙「駄つとれ、俺は俺のよいと思ふとこ買ふんぢや……ソラ前お前で買へ、ウン一枚買へ」

丙「あたし此處消すわ、もう一枚？ぢやこれよ」

甲「やつぱりお稻荷さんですからなア、あんた、何しろ昔から言ふ事にウソはありませんわねね」

他の一隅

「はんとに恐ろしいものですよ」

他の一隅

「そいぢやリヨンコポンと張つたんだ、そいたらお前、阿呆らしい四ヤンで眞向ひよ」

「目のない時やあ、そんなものよ、ミーも今日は十五弗負さ」

他の一隅

笑聲、笑聲、猥談、淫談、姦し。

「坊、ババさんは？」

「ババ、シーコ！」

「ウウ……ム……」返す言葉無し……

秋の夜はふけて十一時。

新春の御よろこび申しあげます

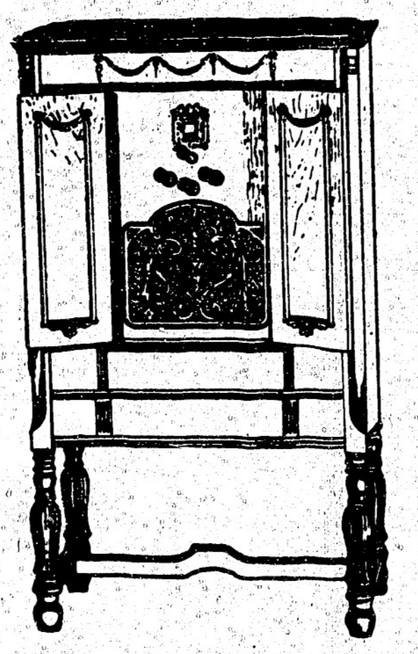
昭和六年一月元旦

ラヂオ專門店

志賀湊川商會

今年の正月はラヂオの御蔭で家中は今迄にない愉快と陽氣さで過ごす事が出來たよ

やはり家庭に音樂ですね



御蔭で僕達の家庭も幸福の中に年が去り希望と歡喜にあふれて今年をスタートする事が出來るさ　まあ何はさて置きラヂオでも買ふ事だね

GENERAL ELECTRIC RADIO

日本人唯一のラヂオ專門店

志賀湊川商會

晩香坡市パウエル街五六八

電話"パイランド"一一八九

新顔スター評判記

一九三一年度に君臨する日本の映畫女優

映畫界は、流行品の如くに、常に新しいスターを製造してゆかなければならぬ。それは一つの戰略であると共に、ファンに對する一つの贈物である。何時までも、松竹が栗島すみ子、鈴木傳明、岡田時彦に、日活が、大河内傳次郎に、寶川鮮江に入江たか子に賴ってゐることは出來ない。

では、一九三一年には、各映畫會社は、第二の栗島すみ子、鈴木傳明、大河内傳次郎をすべく、何に力を入れるか？、來るべき新人は誰？。

日活では

濱口富士子——一九三〇年の最大收穫であつた濱口富士子に、恋々力を入れるであらう。淋少女的なところがあるが、孤絶な雰圍とはちきれさうな肉體とが大きな力となつて、「若旦那藏」のモガとしてのスタートは、アクレションに生硬さがあつたが、幹部級のスターに迫る實力を充分に見せた。次回作品「めくら」では、代作とは思はれない程の大胆な演技で、將來としての未來を示したのである。そして、「嵐夫人」では、いよ〳〵底力のある所を見せて、完全に折紙をつけられた。濱口富士子こそ、實に一九三一年の日活ピカ一スターとして輝くであらう。

山田五十鈴子——「劍を越えて」の田舍娘の大役さへ慣れて果して、一躍認められた彼女は、新進俳優山田九州男の娘である。丸顔の、肉づきのよい、どこまでも日本特有の箱入り娘風の役としては、實に申分ない。澤井、澤村の二人が下り坂となつた日活の時代劇に、それに代る女優である。

市川縫久之助——「紅新橋孤史」で、明演者として、ぴ〳〵したところを見せた。三升門下の市川縫久之助。彼の演技のあの感は、これからの時代劇をしつくり合つて、今年こそ主演映畫をつくり、中堅の人氣を博す事であらう。

大日方傳——淺岡信夫と紅城一朗を混合したやうな恰好で、ガッチリとかなへた大日方傳。「平城の月」で、多少期待の出來るし、技倆の方も、研究の代の年硬さを脫しつゝあつて今年こそはである。

久野英子——夏川系の美人である。夏川、入江、濱口に伍して、今年の現代劇に堂々たる姿を見せるであらう。

松竹では

及川道子——日活が一九三〇年に、濱口富士子を發見したやうに、松竹に取つて及川道子は、最近の有望しい蕾兒である。「不良の白珠」が封切されるや、彼女の端麗な容姿は、未だかつて映畫界に見ざるものとして、ファンの人氣の焦點となつた。日活が、濱口富士子に力を入れる以上に、松竹はいよ〳〵彼女をして、第二の栗島たるべく力を注ぐであらう。

川崎弘子、花岡梨子——この二人も、蒲田にとつては大きな勝りであらう、二人を充分に活躍させ、そして、第二の蒲田全盛時代の中軸を卸すのはまさに今年である。

蒲田稔——今迄紹介しなくとも、東亞時代に知られた人ではあるが、蒲田で移つてからの彼は、實に甦生以上の破天荒な躍進を續げて、俊明、時彦を完全に押へた彼の使命でなければならぬ。

毛利蝶夫——高田稔主演の「朗かに歩め」で、認められた彼である。ニール・ハミルトンに似た横顔、他にも男性的なタイプは、高田稔の牙城に迫つて堂々たるものがある。

帝キネでは

高津慶子——今年こそ、「何が彼女をさうさせたか」で斷然認められた高津慶子の活躍舞臺である。甦生の帝キネは、力一杯の宣傳をするであらう。彼女は松竹樂劇部の出身で、ダンスを得意とし洋々たる前途を持つてゐる。

瀬良章太郎——立教大學出のラグビーの選手だつた彼は、日活時代には全くに不過であつたが、帝キネに入社してから、スポーツマンとしてめきゝ賣り出し、今迄にも相當の主演映畫があるが最近では、素人の堅さがとれて、熱も油の乘の盛りである。

高津慶子と同樣、香椎園子——高津慶子と共に、帝キネの松竹樂劇部出身、三上於菟吉の「淀君」に主演すべく嘱されたのである。高津慶子と共に、帝キネの重鎖たるであらう。

東亞では

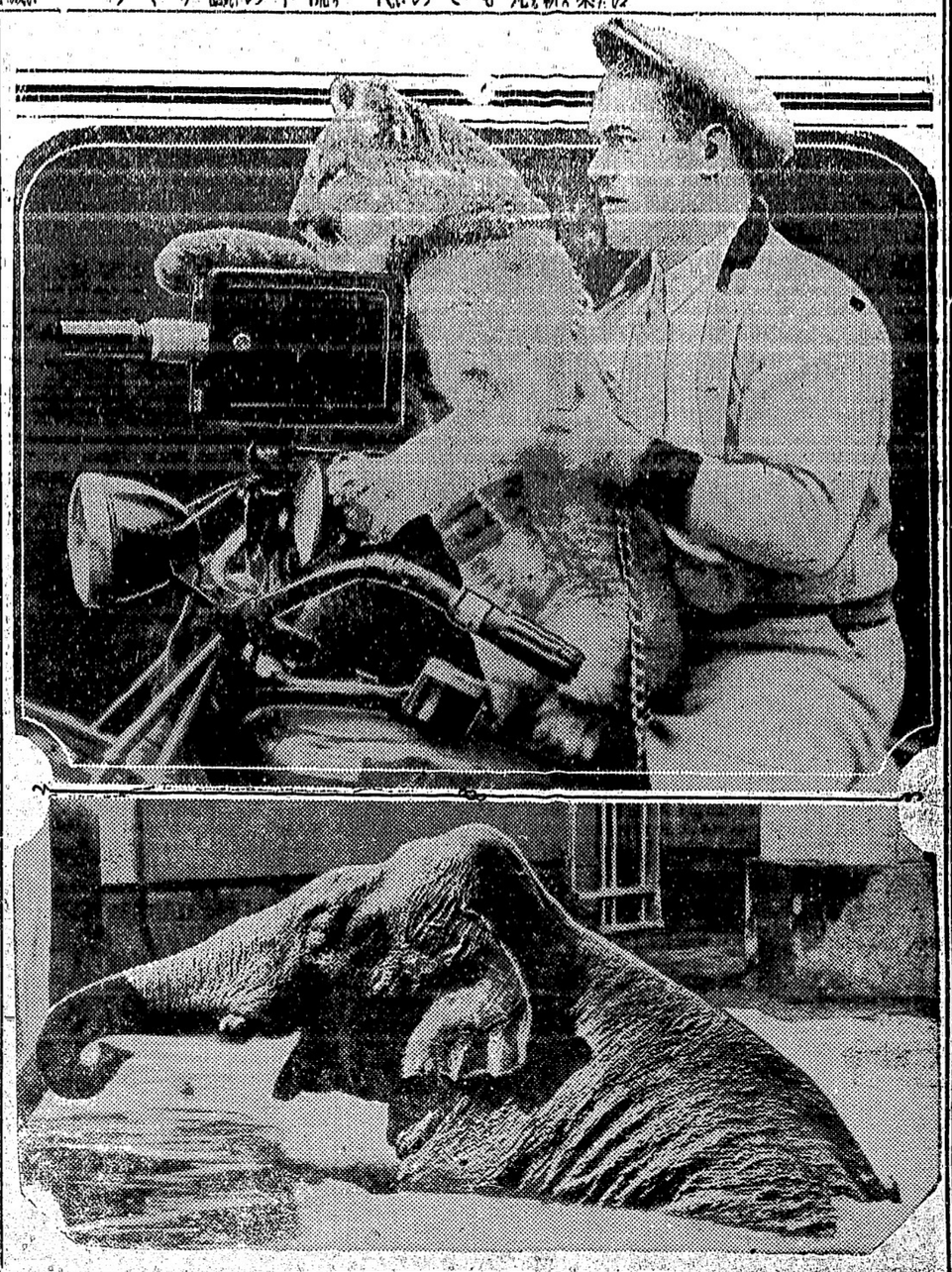
岡田靜江——鈴木和子としての日活當時は、あまり惠まれなかつたが、岡田靜江と改名して、東亞の一九三〇年度の力作「都會双曲線」に主演して、一躍名を擧げた彼女は佐久間妙子、高津慶子等に比肩し得る素質を多分に有してゐる。東亞も愈〳〵本腰で力を入れることであらう。

マキノでは

國太郎と大林——既成スターであるが、最近舞臺臭味の拔け切つた澤村國太郎と、夏川に似て、演技は伏見と同じ道を歩いてゐる大林梅子の兩人が、マキノの人氣を脊負つて立つであらう。

◇

以上は一九三一年映畫界スターの大觀である——榮枯盛衰極まりない映畫俳優の間に誰人が果して傑出する運命を持つて居るか？、——本年はいよ〳〵夫れがハッキリして來るであらう



寫眞の説明

（左の寫眞）日本各映畫會社名ゝのスター

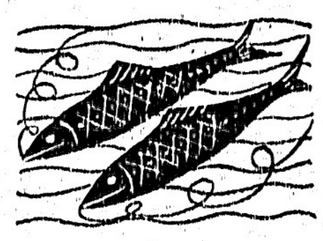
（一）毛利蝶夫——松竹
（二）大林梅子——マキノ
（三）及川道子——松竹
（四）川崎弘子——同上
（五）高津慶子——帝キネ
（六）瀬良章太郎——同上
（七）岡田靜江——東亞
（八）濱口富士子——日活
（九）花岡菊子——松竹
（十）山田五十鈴子——日活
（十一）大日方傳——同上

（右の寫眞）上が米國加州オークランドの住人スノーさん寵愛のライオン——生れてから十三ケ月目——生意氣と活動寫眞映寫のマネ事をやつて居る——下がインド生れのユリウス君——ドイツの首都ベルリン動物園の人氣者——ザンブとばかり水の中につかつて氣持よさそうに細い眼を一層細くして居る

謹賀新年
昭和六年一月元日
晩市パウエル街三八二一
昭和倶樂部
電話シーモア四五三三

謹賀新年
昭和六年一月元日
晩香坡市メイン街貳百參拾參番地
海産物輸出商　嘉祥商會
電話シーモア三五八七

謹賀新年
晩香坡市東チョーチャ街一四三
海産物輸出入商　松山商會
松山　豊藏
昭和六年一月元日
電話ダグラス八一八二



映畫女優のクララ・ボウ
戀に生きる濃艶の女
母親の反對を退けてスターになつてから
數多き猛烈なるローマンス

む輕快娘――といつて悪ければ陽氣な娘、快活な娘、愉快な娘としてスクリーン一杯にあはれ廻る彼女――クランを持つて居る事で映畫のスターたちを扱ふ映畫の手紙を受取る事月平均三萬五千通に達するといはれる彼女――クラクボウに取つて明けて昨年は餘りよい年ではなかつた――第一は中年男のむ聾者さんとの浮氣で騒がれる、第二はバクチをやつたとかやりなかつたとかで問題になる、第三には十一月末の事件ジー・ボウ嬢に惚チャッキを作られて裁判沙汰になる――イヤハヤ並大抵の女ならば（コたれて了ふ所を益陽氣に益快活に飛び廻つて居るのが彼女の身上

◇

む定まりの如くボウの家は貧乏で、母親といふのが厳が厳く厳度のヒステリーで、家の中は暗く冷い――大抵の娘なら、さうした境遇だけでもうしがないか、むせ〳〵といおけて結局い〳〵加減な男と一緒になつて楽しいホームを一つ殖やす位が關の山だが、ボウはさうしか境遇に反撥する向ふ氣の強い娘となつて生育つた――隨分喧嘩をしたやうだ、恥かしめられて泣きながら負けずに爭つたのだらう――彼女は一等に當選すれば映畫女優に推薦するといふ美人投票に寫眞を出して遂に榮冠を得た

◇

當り前のことをしてゐたのでは友達を浸ぐことは出來ないと、勉強してゐる心持ちのはけ場に流れ込んで行つたのである、併し淑野な母はこれに反對し、何度か口論し、遂に母は敗回ボウを殺さうと凶物を持ち出して迫つたといふ――此の時なぞは誠に凄絶以上である――俳優愛らしく仇な恩ひ入れでスクリーンに活躍するボウの背後に、半ば狂亂した老母がボウを刺さうともがく場面を想像して見たまへ、これこそ現代の悲劇と言ふべきでないだらうか

◇

併しボウは敢然所信に邁進した「船に打ち乘り海原指して」といふ海洋劇に處女出演し、數年の苦闘の結果、彼女は遂に新しい女性の典型として第一に擧げられるまでになつた――あらゆる困難にぶつかり、齒を喰ひしばつても古い時代の女のやうに倒れず、押し通して行く性格の強さが、クラ・ボウを今日にさせた唯一の鍵であり、その強さがスクリーンの魅力となつて世界の人々を引つぱつて行くのである

◇

彼女は實生活に於ても、スクリーンのまゝのクラ・ボウである――彼女がブルックリンのシープヘッド湾を母の病死を機會に飛出してハリウッドの生活に入つてから、關係し、或は戀をし、さてはは同棲した相手は實に數多い――同じ映畫俳優のベン・ライオンと同棲し、別れると次はジョージ・オハラ、そして作者のガーレット・フォード――これ等は未だ彼女が名聲華やかならざり頃、戀愛行脚のお相手である

◇

それからが「プラスチック・エージ」撮影中に知り合つたギルバート・ローランド――のち程「椿姫」のアルマン以來ノーマ・タルマッヂの若き恋として有名な彼のギルバート・ローランドが未だ前名ルイズ・アロンゾと言つた頃二人は火の樣な戀に落ちた――そしてすぐ愛の生活を營んだのであつた――このギルバートとの戀にはクラも相當熱心だつたが、クラ自身、その告白記に

「あの當時、今日の經驗とお金を持つて居たら、私達は確實に結婚してゐたでせう」

と言つてゐる位である――元來が多情な彼女、そこへギルバートが猛烈な嫉妬家だつたので、その戀も長くは續かなかつた

◇

例の大作「つばさ」撮影の爲ゆテキサス州へロケーションに行つてるうち生まれたのが監督ヴィクター・フレミングとのラヴ・アフェア（丁度この時ヴィクターは「決死隊」の撮影にテキサスへ來て居たのだ）――同時に男優グエリー・クーパーとの熱烈な戀――遂にギルバートは怒つて彼女を見離してしまつた――クララは早速グエリーと同棲し姉のやうに或は母のやうにグエリーを愛撫した――グエリーも相當幸福に其の愛撫と情愛を受けてゐたが、やがてはその生活に監督ヴィクター・フレミングが入り、所謂戀の三角關係となり、グエリーとしても總てに受動的な今のクララとの生活が心苦しくなり六ケ月の後、遂に同意の上別れてしまつた

◇

で、こんな火花する戀に數年間を送り、心のまゝ男から男へ、共同生活を續けて來たクララではあつたが、最近しみ〳〵と戀の放浪生活に嫌氣がさし、やはりもういい年齢（彼女は一九〇五年七月二十九日にニューヨークのブルックリンに生れ明けて本年二十六歳である）になつたのだし、落ちつくところを求めるの心が湧き起つて來た、撮影の合間なぞに獨り身の淋しさを感じて何だか妙にあとけなく、時にはセンチメンタルな涙すら浮べる彼女であつた――そこへ現れたのがヴォード・ヴィルの俳優ハリー・リッチマンだつた。

◇

世の中の酸いも甘いもかみ分けた中年男――そして何か心强い人生の相談相手を求めてゐるクララ――二人はひとりでにお互を愛し戀する樣になつて行つた――やがてハリーとクララの婚約は發表された、そして、ハリウッド否な全世界にそのニュースは擴がつて行つた――それは明けて昨年の夏の事であつた。

◇

此處にクラ・ボウが述懐の言葉を皆樣に御紹介しよう、曰く

「私はグエリーを丁度お母さんの樣な氣持で愛しました、そう、弟の樣に慈しんだと言つても、ようございますね、グエリーは大きく强くて男らしい代りに、とても恥かしがりでした。

ヴィクターは又年長で私を言う者を知つてゐて呉れました、でヴィクターはグエリーの時とは反對に、私を妹の樣に――時には父の樣にもなつて慈しんで呉れました――私はヴィクターが何もかも知つてゐるのに大變感心させられました

それからハリーは、ギルバートの樣な畏敬や素晴らしさ、グエリーの樣な立派な体姿と無邪氣さ、ヴィクターの持つてゐる體驗と智惠――そんな總てを、すつかり身一つに持つてゐるんで御座いますその上ヴィクターのやうに教へて呉れます――それ以上の事もしで呉れますが是れは申上げられません」

といふのである

◇

クララは燃ゆるやうな色の赤い髮で名高い――身長五呎三吋、體重百十斤――泳ぎが好きで馬乘りが好きで、そして大の犬好きである――といふだけで彼女の性格が躍如として窺はれる――寫眞は「假面を持てるクララ」――假裝ダンス會に其の豊艶な肉體を現はした時の彼女である

豊艶な船乘りダンス――加州ロングビーチにて

假面を持てるウボ・ララク

ピヤノのお稽古

映畫に動物の出演は珍しくありませぬ――さうです、皆さんも御承知の通り、映畫の犬にも「リンテンテン」のやうな、悧巧で、そして監督の言ふ通りに立ち廻るのがあります

◇

此の寫眞を御覽なさい――犬さもが熱心にピヤノのお稽古をやつて居ります――場所は映畫王國、米國加州のハリウッド――教へてるのはジョン・レオナードさん

◇

既に音階を覺え込んで〳〵な人間よりも餘ッ程ウマくやるといふことなのです

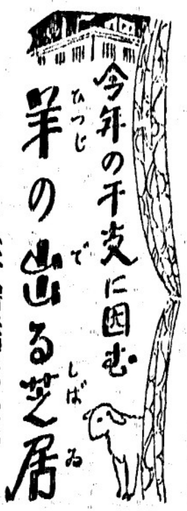
謹賀新年
和洋食料品商
晩香坡市パウエル街二〇五
岩本商店
岩本祥太郎
電話ドグラス五五八〇
住宅ハイランド四九一アール

謹賀新年
晩香坡市パウエル街一三二
ビーシーカフエー
中村登市
中村周作
中村岩三
電話シーモア五九三六

謹賀新年
晩香坡市パウエル街三四二
パウエルベーカリー
店布田員一郎
電話ドグラス五五三一

謹賀新年
晩香坡市マクハーデー街六〇二
井出花園
電話カルトン二五六ページ二
602 McHardy St. Vancouver, B. C.
井出花店
電話ハイランド九二八
主任 井出六太郎

謹賀新年
年頭に當り舊年中の御愛顧を深謝し併而本年も不相變御引立の程を奉希上候
晩香坡市メイン街二二五
田鍋洋服店
田鍋與市
電話シーモア二六六四



今年の干支に因む 羊の出る芝居

—(二人新兵衛について)—

市村雀生

昔の芝居で、犬や馬は盛んに登場して活躍するが、羊になると極めて少い、ところが、羊の出るのは、たつた一しかない。馬や犬と違つて、羊は日本で餘り多くなかつたので、自然、利用される機會がなかつたものと見ゐる。

そこで、そのたつた一つの羊の出る芝居といふのは、俗に「二人新兵衛」とも「新兵衛新兵衛」とも又「田村主殿」ともいふ世話狂言で、ほんたうの名題は「富岡燃長の山開き」作者は初代並木五瓶である。

借て、其の狂言で羊の出るのは二幕目の芝浦明の境内で、杜川屋の桃九郎と云ふ番頭が羊と女の相撲取りを見世物に出してゐる。その桃九郎の利白に、

「此間國で見せて居りました羊と女の相撲取り、それを、此神明へ持つて來、今日初日！」

といふところを見ると、五瓶が此の主人公を拵いた當時、關國に羊の見世物が評判であつたので、それを當込んだものと見ゐる。

此の羊を生毛の金太郎といふ同朋の仕事師が無償に貸してくれといふ、それは自分の生れ年から七ツ目の羊を紋につけるか、頼にしてかけるかすると運が開くなると聞いて、金太郎は巳年だから、七ツ目に當る年を、紋につけようには着物はなし、頼にかけようも家がないから、一層實物をひいて歩かうといふのである。

桃九郎は商賣の種だから貸すことは出來ないといふ、二人が紛つてゐるところへ「玉屋新兵衛」といふ金太の主人が通りかゝつて、羊の紋を島屋燃長に描いて貰つてやるといふので此のいきさつは解決する。此の狂言が何處までも當て込みであるのは、島屋燃長といふ當時の名題の名を利用したのによつても判るが、それと羊とは別に關係のない事。

この狂ひはこれで一先づ片がついたが、するとこゝに玉屋藤兵衛といふ惡者があつて、玉屋新兵衛の印形を盗んで新兵衛が自分から百圓借りたといふ證書を偽造する、この筋は序幕の深川の場にあるが、こゝではその證文をつきつけて新兵衛に催促する、新兵衛は金を借りた覚はないが、印形が自分の御印なので當惑する。

其處へ前の羊が出て來て藤兵衛の突きつけた證文を喰つてしまふが、惡者は證據の證文がなくなつたのでへこたれて了ふ。

新兵衛におねんといふ許嫁の娘があり、それが良人の軀體を見兼て羊を切腹り出すのであるが、つまり善人が惡人に苦しめられて見物が胸をはら〳〵させ手に汗を握つてゐるところへ羊は紙を喰ふといふことを利用して、その羊に證據を喰はせて、見物に痛快がらせるといふのが、作者の山なのである。

珍談 羊三題

(一)羊車

これは支那の六朝時代の話であります。王宮の後庭には無多の宮嬪が住んでゐて、谷女ども王樣のお出でがありますやうにと願つて暮ります。

恰度、只今の午後五時頃、夕陽もふちて漸く淋色があたりを包むといふ頃はひ、王樣は羊に乘かせた車に乘つて後庭の宮嬪がりに出かけます。すると待ち構へてゐた宮嬪達は、手に〳〵食物と笹の葉を用意して暮いて、爭つてその羊に食はせて、王樣の車を停めやうとする、美しい宮嬪達が爭ふ樣子を王樣はヤニ下りながら見てゐるうちに、羊はそのぜれかのところへ停つて了ふ、其處で王樣はその宮嬪の家に一夜を過ごすのであるといふことであります、如何にも支那式らしいところがあるではありませんか。

(二)羊角燈

やはり、支那の事でありますが、支那には羊角燈といふものがありますが、これは羊の角をある藥品で用ひて平にして、これを玻璃の かはりに箔めてこしらへた燈籠であります。

昔の人は、大きな羊を見て美しい感興しましたところから、美といふ字は、羊と大の字をあはせて作つてあります。

(三)羊の字

そも〳〵羊といふ文字は、なぜ胴を直るはその事でもありませんが、羊といふ字は申すまでもなく形象文字で、角の生えたこの獣の姿を現したものであります。

昔の人は、大きな羊を見て美しい感興しましたところから、美といふ字は、羊と大の字をあはせて作つてあります。

灯の影があはくすけて、なか〳〵風流な燈籠であります。

この燈籠は六朝時代をバックにした支那の使者小說などによく書かれてゐます。日本でも前田侯爵家にこれが珍藏されてゐるとの事でありますが、前田家では何でも堺港時代に南蛮から舶來したものとか傳へ聞いてゐますが、何しろ珍奇なものです。

謹賀新年
スキナ、ベルモラル・キャナリー
濱岡高太郎

謹賀新年
スキナ、スタンダート
前田清一

謹賀新年
スキナ、ポート・エドワード
荒川助左衛門

謹賀新年
スキナ、ビーエー・キャナリー
關村駒五郎

謹賀新年
スキナ、クラクストン・キャナリー
濱野庄右衛門

謹賀新年
スキナ
ポートエシングトン・ビーエー・キャナリー
宇井勘藏

謹賀新年
スキナ、キャシア・キャナリー
中井保一郎

謹賀新年
スキナ、オシャニック・キャナリー
高田五平

謹賀新年
スキナ、オシャニック・キャナリー
小堀卯之助

謹賀新年
スキナ
ポート・エシングトン・ビーエー・キャナリー
中村久吉

謹賀新年
和洋雜貨商
スキナ、ポート・エシングトン郵函三一
岸本商店
岸本半六

謹賀新年
洋食店及旅館
スキナ、ポート・エシングトン郵函二四
福原隆量

謹賀新年
和洋雜貨食料品
東洋商業會社
加奈陀ビーシー州ポートエシングトン郵函四六
大橋松次郎

謹賀新年
和洋雜貨食料品
日用品一切
ポートエシングトン郵函二七
亀田商店
亀田七三郎

謹賀新年
加奈陀ビーシー州
ポートエシングトン郵函二八
本川造船所
主任 本川末吉

謹賀新年
スキナリバー
スキーナ漁者協會

野球は下火になつて蹴球に人氣集る

但し職業團は一向に振はぬ

（ニウヨークにて）中尾濟

アメリカの蹴球シーズンに毎土曜日に行はれる試合はカレッヂとスクールとを通じて、斷然にその結果が記載される試合だけでも百を超わるであらう。野球の人氣はどちらかといふとやゝ下り坂で、殊にセントルイス・ブラウンスの如きは、創立以來いまだかつてリーグのペナントを獲たことがないといふ自慢にならぬ歴史を持つたクラブのせゐでもあらうが、近年の業績は振はず、どうかすると一と試合に三百人か五百人しか見物人が來ないやうな場合すらあつて、野球を後やることにしようと提唱したのもこのクラブだといふ話であるが、これに反して蹴球は人氣ますゝ沸騰、ビッグ・テンの何れかゞ二つッ合ふやうな試合には、容易なことでは入場券が手に入らない狀態である。

◇

しかしそれは學生の蹴球試合であつて、職業團の方は依然として振はない。選手は何れも學生時代に鳴らしたスター揃ひであり、ニューヨーク・ジャイアンツだとかシカゴ・カーディナルスなんていふ名前のもとに、ポロ・グラウンドあたりを戰場として、野球よりも一と足お先に夜間興行をやつてゐるが、どうも入りは思はしくないらしい。つまり人氣の點から見た蹴球のアマとプロとは、アメリカの野球の反對で日本の野球と同じケースにゐるのだ。

◇

そこでアメリカの學生の蹴球がなぜそんなに人氣を呼ぶのかと尋ねて見ると、たいていは野球よりも活氣があつてよいとか、野球はチームの全体が動いてゐないのに反し、蹴球は二十二人が殘らず一斉に動いてゐるとか、尤もらしい理屈を並べるが、私の見たところではアメリカの學生蹴球は日本の學生野球と全く同一の軌道を辿んでをり、そこに人心を引きつけるものが潜在するのだと思ふ。すなはちクラブが主となつて發達し、早くから職業團が生れたアメリカの野球には望ち技術本位、興行價値一の途が開けてアマチュアの割り込む隙がなくなつたに引きかへ、學校をバックとして生長した學生蹴球は、その熱と眞劍さにふいて技術を壓倒し、反對に職業團の連中を圧倒して了つた。丁度日本に職業野球チームが存在し得ず、間ヒアマチュアでも空樂生團より現役團に人氣が集まるのと同じである。

◇

その代りアメリカの蹴球はゲームばかりでなく見る方も荒つぽい長い歴史を勝つたアーミーとネービーの試合は中止になつてゐるがこれはあまりに双方の聲援が熱狂するので、事故の發生をおそれて差し止められたのださうだ。又プリンストンとハーバードの試合もいつか試合のあとで、プリンストンの暴れものがハーバードの選手を殴つたことから中止になつてしまつた。更にコロンビアとニューヨーク大學は同じニューヨークにありながらなぜ試合をしないのかと思つたら、いつかの試合にニューヨークが勝つたので職援團が氣になつて亂暴を働き、その翌年コロンビアが勝つと今度はコロンビア贔負が暴れ、當分試合は見合せといふことになつたのださうである。

◇

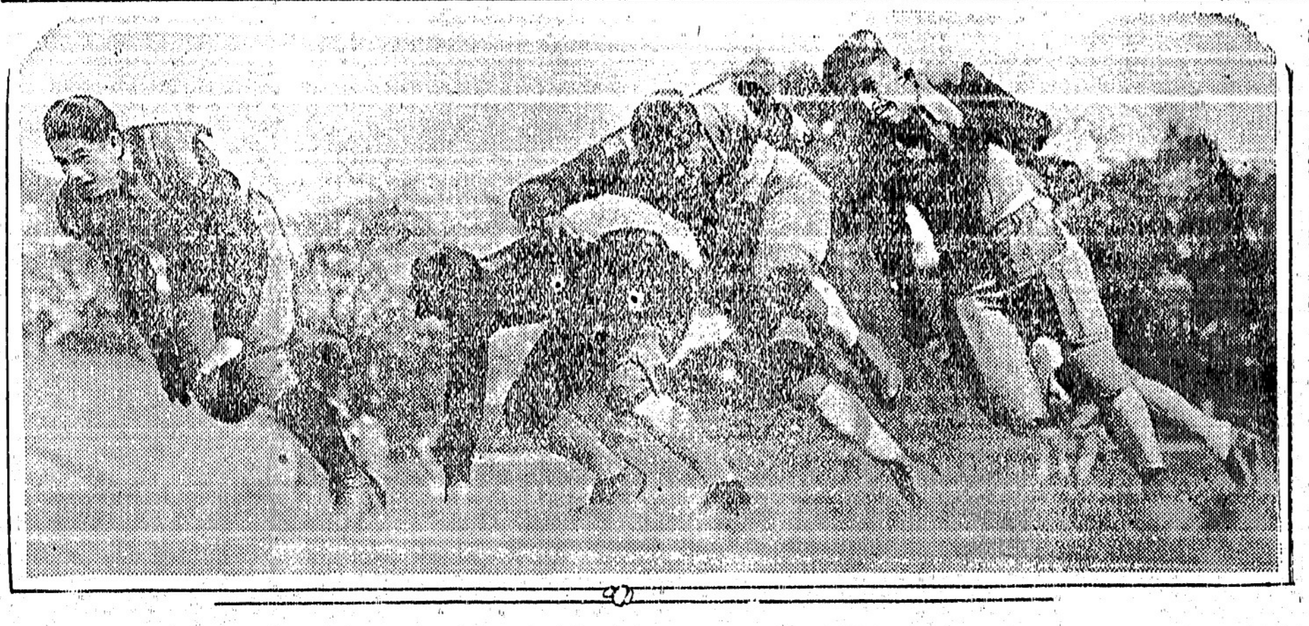
賞たことではないが、こゝらも日本の野球とよく似てゐる。「アメリカあたりの職援は驚然として一糸も紊れない」なんて讃辭を聞かされるが嘘だ。人間は矢張り人間である、白くても黄いろくても熱すれば常軌を逸するは人情に變りなく、その熱のあるところに何萬何十萬の人を吸ひ寄せる力がひそむ。そしてその熱を持つた蹴球は榮え、熱を失つた野球は衰光を見せつゝあるのだ。

◇

よく日本でも「野球は既に過去のもので、將來はラグビーの時代だ」なぞゝメートルをあげる連中があるが、何でも目先の變つたものさへ見れば除窓したがるアワテ者の多い日本、つまりあさつぱい一部日本人の性情を別にして考へれば、野球とラグビーなんて、競技の方法、性質、シーズンに至るまで截然と區別されたものを並べてどちらがよいの惡いのと批判すべき筋のものではないと思ふ。

◇

そして私は日本の野球も今のまゝに學生中心で進めば當分衰へる氣遣ひはなく、またそれがスポーツとして進むべき野球の本道であつて、職業團はもちろん、たとひアマチュアを標榜するものであつても、何々倶樂部なぞいふものゝ集合体に實權を讓るべきではないと信ずる。



壯烈なる米國式ラグビー戰

（上圖）フォーダム軍後衛の奮闘（下圖）ウエスト・ポイント士官學校に於る陸兵軍の猛練習

荒つぽい米國式ラグビーでは怪我人は扨て置いて死人の出る事さへ珍らしくはなく近頃は又アトランタなどで冬季屋内でやる事さへ始め出した

謹賀新年　宇佐見復一　バウエル街一二三
謹賀新年　竹内家具店　晩市東カドバ街一三八　電話シーモア六〇九一
謹賀新年　鎌倉與作　バウエル街六一七　鎌倉灸點所　電話ハイ二〇六八ワイ
謹賀新年　廣濟堂　東ペンダー街九二　外傷一切　醫生林弼臣
謹賀新年　御化粧品文化商會　晩市バウエル街二五〇　電話シー四〇八七
謹賀新年　林一心堂　バウエル街五一九　電話ハイ三五三六×
謹賀新年　中川果物店　晩市バウエル街三二三　電話ドグラス八三六
謹賀新年　尾本商店　アレキサンダー街四〇九
謹賀新年　工藤才資　晩市西第一街二一六八
謹賀新年　モディスト商會
謹賀新年　東洋商會
謹賀新年　折戸商會
謹賀新年　大和商會
謹賀新年　百瀬商會

謹賀新年　千葉タキシー　晩香坡市メーン街二〇八半　電話シーモア八八三
謹賀新年　ホームタキシー　晩香坡市西第四街一五六二　森泰次郎　電話ペエピュ六一七五
謹賀新年　小宮商店　晩香坡市バウエル街九七　煙草果物　薪炭販賣並運送業　電話シーモア八六三七オー
謹賀新年　篠商店　和洋食料品ミルク配達販賣　晩香坡市メーン街三〇〇　ローズバンク　グロサリー　電話ドグラス五五三七
謹賀新年　西山商店　晩香坡市メーン街二七五一　食料品商　電話フェアモント五八八九
謹賀新年　神原商店　晩香坡市メーン街二四九　菓子果物煙草　電話シーモア三二一五
謹賀新年　米山果物店　晩香坡市メーン街一〇一六　米山石次郎　電話シーモア五一七三オー
謹賀新年　宇都宮玉場　晩香坡市バウエル街一六八　宇都宮藤太郎
謹賀新年　濱岡果物店　晩香坡市キャロル街二〇二　電話シーモア六一六七
謹賀新年　鈴木果物店　晩香坡市メーン街バウエル街角　鈴木國藏　電話シーモア七七一〇オー
謹賀新年　山三蒲鉾店　晩市アレキサンダー街四七四電話ハイ一〇三四　香川芳太郎
謹賀新年　板熊　晩香坡市ダンレビー街一四七　かまぼこ製造所　藤岡米治郎　電話シーモア四一六四

謹賀新年　千手七藏　晩香坡市東カドバ街一一九　マドロナルームス　電話シーモア七七九一オー
謹賀新年　谷田八十九　晩香坡市プリンセス街二二五　ユーリカ・ルームス　電話ハイランド一八八二
謹賀新年　ウオールド・ホテル　晩香坡市バウエル街三九六　高橋　電話シーモア三七八八
謹賀新年　半田律次　晩香坡市バウエル街三二四半　バラードルームス　電話ダグラス四六七三アール
恭賀新年　松宮、野瀬雜貨店　晩香坡市バウエル街二二九　電話ダグラス貳壹壹參
謹賀新年　宮崎商店　晩香坡市バウエル街三二九　和洋雜貨　電話ドグラス一七四七
謹賀新年　近江屋　晩香坡市バウエル街七八六半　横田榴次郎　電話ハイランド一二三六
謹賀新年　江畑魚店　晩香坡市バウエル街三七七　電話ダグラス八八九
謹賀新年　平松電氣店　晩香坡市バウエル街二七〇　平松儀作　電話ダグラス五五四四
謹賀新年　高橋黛吉　晩香坡市バウエル街五四三　電話ハイ四六八四アール

漫画　松の内

風來山人

お正月羽子をつきたい妻で
あり

「ねね、あなた、いゝでせう、奥
も羽根を突いてみたいわ」
「一体、今年お幾歳になり遊ば
したのだ」
「あら、嫌だわ、年なんかどうで
もいゝぢやありませんか」
「お手傳がお幾人お有り遊ばす」
「知らないわ、お正月だもの、いゝ
でせう、あなたもつまなさいな」
「俺なんか、到底女流選手のお相
手なんか出來ないよ」
「まア憎らしい、勝手になさい、
まチちゃん、いらつしやい、母ち
やんが羽子をついてあげるから……
……ほうら、ひい、ふう、みゝ……」

◇

宴會を二つ稼いで四円半
「あら疲れちやつわ、隨分待つた
でせう」
「待たされる身になるなど言ふか
らなア」
「でも今晩は昭和丸船と大正製糸
との新年會を二つも受けもつたの
でスツカリ疲れたわ」

「どうせ疲れつ妓の情人なんかみ
じめなもんさ」
「あら怒つてるの！　でも仕方が
ないわ、これが稼業ですもの——
ねゝッ口惜しい！」
「ふい！　で、どうしたのだ、涙
なんか溜めて」
「でも、あんまりだわ」
「あッ痛い！　あやまる、あや
まる」

◇

屠蘇で始まりウイスキー

で寢てしまひ
そも〳〵の導火線が今朝の屠蘇だ
つた。それからすつかり腰が座つ
てしまつてゐるところへ、友達が
やつて來たものだから、好敵手御
座んなれとばかり、主客亂れて泡
を飛ばす「オイ、奮勝らしいものを
飲ますぞ」といつてゐるうちは正氣
だつたが、さしつおさへつ、其の
うちに「ウーイ、グツブ、何だか
眠くなつて來た、失敬するぞ」

◇

元日をよつぱで妙な味でゐる
雜煮の餅がまだ口の中でガンばつ
てゐる、屠蘇の酔ひがまだ覺めぬ
のに、行き先々で呼ばれる。ウ
ーイと變なゲツプが出る。蜜柑も
碌々喰へぬのに口は減らぬ。こり
あ正月早々から胃を悪くしてはた
まらぬと、歸宅してから胃散をソ
ツとやらうとしてゐると女房が、

「貴郎！　お正月早々からお顔は
緑起が悪いわよ」と中止を命ぜら
れたが、胃の中にたまつた樣兼仲
々解散してくれず、時々ぐる〳〵
とトキの聲をあげてゐる。

◇

歌かるた人の工場を嫁荒し
「おい、俺の方まで取りに來なく
つてもいゝぢやないか」
「でも、あなた、隨分おそいので
すもの」
「あッ、又やりあがつたな、畜
生！」
「オホ、〻〻〻〻」

謹賀新年
ステブストン郵函一五〇
山下床
山下七郎

謹賀新年
ステブストン郵函一八八
宮下藥店
宮下信三

謹賀新年
ステブストン郵函一九〇
森下裁縫所
森下もと

謹賀新年
ステブストン郵函三三
金物及漁船用品一切
新出金物店
電話一〇一

謹賀新年
ステブストン
青年會

謹賀新年
ステブストン倉同敬會
水野重吉

謹賀新年
按摩業
増田かね
電話一三六

謹賀新年
ステブストン
吉田國定
電話四四キユー

謹賀新年
フイニックス
谷野宇八
電話四六アール

謹賀新年
ステブストン
山本平三郎
郵函一四五

謹賀新年
ステブストン
雜本國松
電話四七アール

忌中年末年始の禮を缺く
ステブストン
小田茂三郎

謹賀新年
ステブストン郵函五六
秋本金物店
店主秋本重則
電話九一　住宅一〇五エル

謹賀新年
ステブストン
今井靴修繕所
電話九七

謹賀新年
ステブストン郵函二二四
武内洋服店
武内庄太郎

謹賀新年
ステブストン
田中洋服店
電話五五

謹賀新年
ステブストン郵函二二
若葉菓子店
電話三五

謹賀新年
和洋雜貨食料品商
ステブストン郵函四〇五
大江商店
電話五四

謹賀新年
ステブストン郵函二八
向井商店
電話八八

謹賀新年
球場及理髮業
ステブストン郵函一一〇
谷石權四郎

謹賀新年
ステブストン郵函三五
田坂床
田坂蟻三

謹賀新年
ステブストン郵函一〇六
濱口球場
濱口勝次郎

謹賀新年
ステブストン語學校
松崎三次郎
外職員一同

忌中に付年末年始の禮を缺く
ステブストン第三ロード
川瀬忠義
電話七一ケー

忌中に付年末年始の禮を缺く
ステブストン第九ロード
屋敷若松

謹賀新年
新年用の御料理は特別に御安く、一品の御注文でもお
受け致します。特に御宴會用の御料理は大割引でお願
致ひします。何うぞ是非一度お試し下さい。
ステブストン
支那料理一切
上海カフエー

謹賀新年
ステブストン郵函一二二
中塚薪炭商會
電話一三四

謹賀新年
ステブストン郵函四四五
宮下池田婦人服裁縫店
池田兄弟薪炭並に運送業
電話一〇六

謹賀新年
和洋食料品並に雜貨商
ステブストン
近江屋商店
電話三一

謹賀新年
ステブストン病院
玉置なを
中島りん

謹賀新年
ステブストン郵函四七
向井造船所
向井富一
電話四六ケー

謹賀新年
ステブストン
岸造船所
郵函一八〇
電話一三九

謹賀新年
ステブストン造船所
山中定吉
古川忠三
小松喜次郎
市川芳太郎
電話一五六
郵函一四七

謹賀新年
ステブストン郵函二〇
中出造船所
電話八六

謹賀新年
ステブストン郵函三二
阿田木造船所
阿田木常松
電話五

謹賀新年
加奈陀サン生命保險代理
ステブストン郵函四五二
農業
小林貞二
電話二六